



報道機関各位

2017年11月7日

TUFS Cinema プロジェクト 12月・1月の上映会（無料）のご案内
ASEAN 設立 50 周年記念：**東南アジア映画特集**
エチオピア、激動の 30 年：**エチオピア映画上映会**

東京外国語大学（東京都府中市、学長：立石 博高）におきまして、12月9日・16日・23日・1月6日（いずれも土曜日）に東南アジア映画特集を、12月10日（日）にエチオピア映画上映会を開催しますので、ご案内します。

TUFS Cinema：東南アジア映画特集（各回とも上映後に各地域の専門家による解説つき）

上映作品：ミャンマー映画『小さな村の新任教師 Tomorrow』（12/9）

カンボジア映画『ダイヤモンド・アイランド』（12/16）

シンガポール映画『見習い』（12/23）

マレーシア映画『JAGAT（世界の残酷）』（1/6）

今年、ASEAN（東南アジア諸国連合）設立 50 周年を迎え、ますます注目を集めている東南アジア。日本ではまだまだ馴染みの薄い東南アジア映画ですが、東南アジアの国々でも、映画は人々に愛され、親しまれている娯楽の 1 つです。この地域ではどのような映画が観られ、どのような映画が作られているのか。それぞれの国の映画事情や社会事情をご紹介します。

第 1 回 ミャンマー映画

12月9日（土）14:30 開映（14:00 開場）

- 『小さな村の新任教師 Tomorrow』本編上映（140 分/2011 年/ミャンマー）
- 上映後解説 三井優（脚本家・ミャンマー映画祭実行委員会代表）

第 2 回 カンボジア映画 12月16日（土）14:30 開映（14:00 開場）

- 『ダイヤモンド・アイランド』本編上映（99 分/2016 年/カンボジア、フランス、ドイツ、タイ、カタール）
- 上映後解説 本間順子（カンボジア語通訳・映画ライター）

第 3 回 シンガポール映画 12月23日（土・祝日）14:30 開映（14:00 開場）

- 『見習い』本編上映（96 分/2016 年/シンガポール、ドイツ、フランス、香港、カタール）
- 上映後解説 盛田茂（立教大学アジア地域研究所特任研究員）

第 4 回 マレーシア映画 1月6日（土）14:30 開映（14:00 開場）

- 『JAGAT（世界の残酷）』本編上映（79 分/2015 年/マレーシア）
- 上映後解説 戸加里康子（東京外国語大学非常勤講師）

各回とも会場 東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール、入場無料、先着 501 名、予約/申込不要





TUFS Cinema : エチオピア映画上映会 (アフリカンウィークス企画)

上映作品 : 『テザ 慟哭の大地/TEZA』

上映後にエチオピア史学者による講演つき

東京外国語大学では、12月4日(月)から22日(金)までの2週間、学生の企画による「アフリカンウィークス」*を開催します。「アフリカの、ふつうのひとの、ふつうの暮らし」に焦点をあてたさまざまな企画が行われます。その一環として、本上映会を実施し、権力の支配と格差に苦しむエチオピアの激動の30年を描いた作品を取り上げます。上映後には、エチオピア現代史を専門とする学者による講演も行います。

日時 : 2017年12月10日(日) 14:00開映 (13:30開場)

会場 : 東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール

プログラム :

- 『テザ 慟哭の大地/TEZA』本編上映 (140分/2008年/エチオピア=ドイツ=フランス)
- 講演会・映画解説 眞城百華氏 (上智大学 エチオピア史研究)

その他 : 入場無料、先着 501名、予約/申込不要



アフリカンウィークス African Weeks について

東京外国語大学のアフリカンウィークス実行委員会 (東京外国語大学学生団体 FemmeCafé/同大アフリカ地域専攻有志) が主体となり、「アフリカの、ふつうのひとの、ふつうの暮らし」をテーマにさまざまなプログラムを行う2週間 (2017年12月4日(月)~22日(金))。期間中に、次の企画を予定しています。

- ・ アフリカ絵本展、読み聞かせ会
- ・ ルワンダコーヒー&アフリカグッズ販売
- ・ アフリカブリコラージュ写真展、講演会
- ・ アフリカ音楽イベント&留学生交流会
- ・ 学食におけるアフリカ料理提供

詳細は、アフリカウィークス特設サイトにて
http://femmecafe.com/?page_id=661



添付資料 : 各企画のフライヤー

<本件に関するお問い合わせ> 東京外国語大学 総務企画課 広報係
TEL : 042-330-5151 FAX : 042-330-5140 E-mail : soumu-koho@tufs.ac.jp
TUFS Cinema ウェブサイト : <https://tufscinema.jp/>



TUFS Cinema

ASEAN50周年記念

東南アジア映画特集

2017年 12月9日・16日・23日 2018年 1月6日

会場: 東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール



ミャンマー映画

2017年12月9日(土)

『小さな村の新任教師 Tomorrow』

Tawaya Alintanmya

ミャンマー/ビルマ語/日本語字幕付き/

140分/2011年/劇映画

監督: トンアウンソー

2012年ミャンマー国内アカデミー映画賞受賞ほか

解説 三井優(脚本家・ミャンマー映画祭実行委員会代表)



カンボジア映画

2017年12月16日(土)

『ダイヤモンド・アイランド』

Diamond Island

カンボジア、フランス、ドイツ、タイ、カタール/カンボジア語/

日本語字幕付き/99分/2016年/劇映画

監督: デイヴィ・シュエ

2016年カンヌ映画祭 批評家週間劇作家・監督・作曲家協会(SACD)賞 受賞

解説 本間順子(カンボジア語通訳・映画ライター)



シンガポール映画

2017年12月23日(土)

『見習い』

Apprentice

シンガポール、ドイツ、フランス、香港、カタール/マレー語、

英語/日本語字幕付き/96分/2016年/劇映画

監督: ブー・ジュンフォン

第69回カンヌ国際映画祭ある視点部門ほか出品作

解説 盛田茂(立教大学アジア地域研究所特任研究員)



マレーシア映画

2018年1月6日(土)

『JAGAT (世界の残酷)』

Jagat

マレーシア/タミル語、マレー語、華語/

日本語字幕付き/79分/2015年/劇映画

監督: サンジェイ・クマール・ペルマル

第28回マレーシア映画祭最優秀作品賞ほか

解説 戸加里康子(東京外国語大学非常勤講師)

TUFS Cinemaとは

東京外国語大学において

大使館・映画配給会社などの

関係機関の支援・協力により

世界の諸言語による

映画・演劇および講演会などを

実施するプロジェクト。

このたび、ASEAN50周年を記念し

「東南アジア映画特集」として

東南アジア地域の映画4本を

上映します。

これらの映画を紹介することにより

各地域の社会文化理解の一端を

担っていくことが

本上映会の目的です。



TUFS Cinema 東南アジア映画特集

12月9日(土) 14:00開場 14:30開映

小さな村の新任教師 Tomorrow

Tawaya Alintanmya

1988年反政府活動で多くの若者が犠牲となったあの時代から…現代。ミャンマーのある小さな村に赴任する新任教師がいた。小さな村の学校の生徒は家の手伝いや家族の面倒をみるため学校に行きたくても行けない状況。主人公は教師として初めて遠隔地の学校に赴任する。電気も水道もない村で途方に暮れる。ミャンマーの漫画が原作の異色作。ミャンマー国内アカデミー賞 8部門受賞。

2012年ミャンマー国内アカデミー映画賞受賞。脚本賞・助演男優賞・指導者賞・音楽賞・ベスト映画作品賞・ベスト主演女優賞・ベスト主演男優賞・監督賞

解説：三井優（脚本家・ミャンマー映画祭実行委員会代表）



ミャンマー
2011年/ビルマ語/140分/
劇映画/日本語字幕付
監督: トンアウンソー
出演: ナウンアウン、
ルーミン、メロディー、モース

12月16日(土) 14:00開場 14:30開映

ダイヤモンド・アイランド

Diamond Island

経済発展目覚ましいカンボジアの首都プノンペン。対岸の中洲島、ダイヤモンド・アイランドと呼ばれる新興開発エリアでも、商業施設や高級住宅の建設ラッシュに沸いている。村を出て、建設労働者としてともに働く仲間たちと暮らすボラは、音信不通だ兄ソーライと再会する。オートバイに乗り、スマートフォンを手にして、夕日に輝く商業地区のネオンに集う若者たち。女の子たちとの出会いもある中、兄からはアメリカへ行くことと言われるが…。

2016年カンヌ映画祭批評家週間劇作家・監督・作曲家協会(SACD) 賞受賞

解説：本間順子（カンボジア語通訳・映画ライター）



カンボジア、フランス、ドイツ、タイ、カタール
2016年/カンボジア語/99分/
劇映画/日本語字幕付
監督: デイヴィッド・シュエ
出演: ヌオン・ソボン、ナウ・チアネイ、
メン・ソビナー、チャム・マディザ

12月23日(土) 14:00開場 14:30開映

見習い

Apprentice

28歳のアイマンは、凶悪犯罪者刑務所の看守として転任するが、65歳のラヒムから死刑執行助手に指名され、プロ意識を持ち業務を淡々とこなす彼の姿を見て影響を受けるようになる。しかしアイマンは姉の怒りを買うと、ラヒムが亡き父の死刑を執行したという思わぬ事実を知る。後に交通事故に遭い入院したラヒム。アイマンは彼の後継者になれるのだろうか。本作は、アイマンとラヒムの関係を縦糸、姉との葛藤を横糸として、監督自らが元死刑執行者、被死刑者家族への聞き取り調査を行ない、3年かけて脚本を完成させた作品である。第69回カンヌ国際映画祭ある視点部門、第29回東京国際映画祭ワールド・フォーカス部門出品作

解説：盛田茂（立教大学アジア地域研究所特任研究員）



シンガポール、ドイツ、フランス、香港、カタール
2016年/マレー語、英語/96分/
劇映画/日本語字幕付
監督: プー・ジュンフォン
出演: フィル・ラフマン、
ワン・ハナフィ・スー、マストゥラ・アフマド

1月6日(土) 14:00開場 14:30開映

JAGAT(世界の残酷)

Jagat

1990年代初頭、マレーシア半島北部のとある村。タミル映画やマイケル・ジャクソンが好きで少年アボイは、芸術的な才能を見せつつも、教育熱心な父親や学校の教師からは折檻されてばかり。自分のやりたいことを認められぬアボイは、地元のギャンググループの中で頭角を現していく。叔父の生き方に惹かれていく。国の経済開発から取り残され、さらに急速に変わっていく社会環境の中で、アイデンティティを見失い、ギャング活動やドラッグに溺れていくインド系マレーシア人の苦境を描いた佳作。

第28回マレーシア映画祭最優秀作品賞・最優秀新人監督賞、2016年クアラルンプール映画批評家賞最優秀作品賞・監督賞・主演男優賞・撮影賞・脚本賞

解説：戸加里康子（東京外国語大学非常勤講師）

マレーシア
2015年/タミル語、マレー語、華語/79分/
劇映画/日本語字幕付
監督: サンジェイ・クマール・バルマル
出演: ハルヴィン・ラージ、
ジブライル・ラジュラ、クレーベン・マハデヴァン



TUFS Cinema × TUFS オープンアカデミー 特別企画のご紹介!

今年、ASEAN(東南アジア諸国連合)設立50周年を迎え、ますます注目を集めている東南アジア。日本ではまだまだ馴染みの薄い東南アジア映画ですが、最近では日本で開催される国際映画祭で上映されたり、一般の映画館で公開されることも増えてきました。東南アジアの国々でも、映画は人々に愛され、親しまれている娯楽の一つです。この地域ではどのような映画が観られ、どのような映画が作られているのか。

東南アジアの4つの国—ミャンマー、カンボジア、シンガポール、マレーシア—の映画事情をお伝えするため、TUFSシネマ東南アジア映画特集の開催に合わせて、TUFSオープンアカデミー講座「東南アジアの映画を知ろう—ミャンマー、カンボジア、シンガポール、マレーシアの映画と社会」を開講します。本講座は、映画上映会と同日に開講し、上映前に、それぞれの国の映画事情や社会事情を知りたい方づく機会にしたいとも考えています。お気軽にご参加ください。【映画上映会:無料・一般公開、本講座:事前申込制・受講料1,500円/4回・先着60名】

日時	授業内容
12月9日(土)	ミャンマーの映画を知ろう
12月16日(土)	カンボジアの映画を知ろう
12月23日(土)	シンガポールの映画を知ろう
1月6日(土)	マレーシアの映画を知ろう

いずれも13:00-14:00(1時間)、府中キャンパスにて

申込期間:8月23日10時スタート
~ 11月27日まで

詳細・お申込方法は、オープンアカデミーHPにて
<http://www.tufs.ac.jp/common/open-academy/index.html>

もつと
東南アジア映画
を学ぶ



【交通アクセス】

● JR中央線

「武蔵境」駅のりかえ西武多摩川線「多摩」駅下車徒歩5分
(JR新宿駅から約40分)

● 京王電鉄

「飛田給」駅北口より多摩駅行き京王バスにて約10分
「東京外国語大学前」下車

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ】

東京外国語大学 総務企画課 広報係

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

Tel: 042-330-5150(土日祝をのぞく9:00-17:00)

Email: soumu-koho@tufs.ac.jp

<http://www.tufs.ac.jp>





TUFS Cinema × African Weeks

エチオピア映画上映会

テザ

慟哭の大地

いま、神秘と祝祭の扉が開かれる

Program

- 映画『テザ 慟哭の大地/TEZA』本編上映
 - 講演会・映画解説
- 眞城百華先生(上智大学 エチオピア史研究)

[上映作品のあらすじ] 1970年代に医者を目指し故国エチオピアを離れ、ドイツに留学していたアンベルブル。しかし、外国での人種差別と、皇帝ハイレ・セラシエの支配から軍事独裁政権に取って代わった故国の現状に失望し、荒涼とした故郷の村に帰ってきた。村で待つ母と村人たち。その中に佇むひとりの謎の女性アザヌ。蘇ってくる幼少期の記憶と大地の霊、忘れることができない夢に導かれるようにアンベルブルは、過去と現在を行き来する。そこに迫りくる独裁と暴力の影。この国に未来はあるのだろうか。その先に見える希望の光とは。

【監督】ハイレ・ゲリマ(監督/脚本/制作)

2008年/エチオピア=ドイツ=フランス/アムハラ語、ドイツ語、英語/140分/カラー/日本語字幕付

日時

2017年

12月10日[日]

開映14:00(開場13:30)

会場

東京外国語大学

アゴラ・グローバル/プロメテウス・ホール
東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨駅」徒歩5分

その他

入場：無料/先着順/申込み不要

定員：501名

主催：アフリカンウィークス実行委員会

(東京外国語大学学生団体 Femme Café/同大アフリカ地域専攻有志)

協力：シネマトリックス

東京外国語大学 現代アフリカ地域研究センター

東京外国語大学 TUFS Cinema

開催趣旨、トークの内容などの詳細はWEBをチェック
<https://tufscinema.jp/>

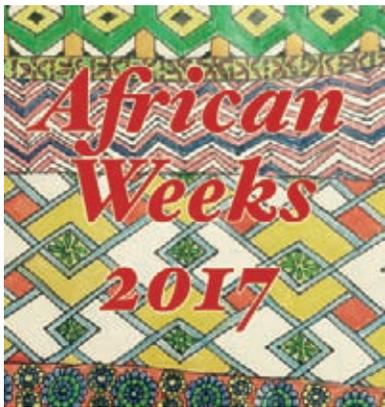


[お問合せ] 東京外国語大学 総務企画課 広報係(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5150 (平日 9:00-17:00) Email soumu-koho@tufs.ac.jp

Facebook @tufscinema.pr Twitter @tufscinema





「君の知らないアフリカ」

突然ですが、クイズです! 「アフリカ」ときいて思い浮かべるものを順に3つ教えてください。
 貧困、病気、紛争、それとも動物、マサイ族?
 全部、正解です。だけど同時に間違いでもあります。

ヨーロッパやアメリカ大陸、中国などがすっぽりと入るほど大きな大陸、アフリカ。日本国内に様々な社会・自然環境があるように、アフリカにも各地で全く異なる文化や特色がありその魅力や状況をひとことで語ることはできないからです。

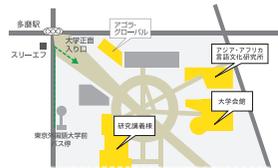
アフリカンウィークス中には、「アフリカの、ふつうのひとの、ふつうの暮らし」に焦点をあてた5つの企画が行われます。「なんにもない!」と思われがちなこの大陸が、なんと多様で豊かなことか!

あなたの知らないアフリカにぜひ会いに来てください。



【交通アクセス】

- JR中央線「武蔵境」駅のかき西武多摩川線「多摩」駅下車徒歩5分 (JR新宿駅から約40分)
 - 京王電鉄「飛田給」駅北口より多摩駅行京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車
- ※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



【お問い合わせ】

東京外国語大学 総務企画課 広報係
 ☎183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
 Tel: 042-330-5150 (土日祝をのぞく9:00-17:00)
 Email: soumu-koho@tufs.ac.jp



『トビのめんどり』ポリー・アラキジャ=さく さくまゆみこ=訳
 発行年月:2014年8月 出版 さ・え・ら 書房

アフリカ絵本展 「絵本からアフリカを知る」

子どもの頃にたくさん読んだ「絵本」。わたしたちだけでなく、世界中の子どもたちが絵本を読んでいます。アフリカで暮らす子どもの生活を、想像したことはありますか? アフリカの多様な側面を、わたしたち人間の生活に密着した「絵本」から、垣間見ることができるかもしれません。アフリカ絵本の展示に加えて、子どもを対象にした絵本の読み聞かせも行います。



『ミルクこぼしちゃだめよ!』文:スティヴン・デヴィエーズ
 絵:クリストファー・コー、訳:福本友美子、ほるぷ出版、2013年

【絵本展】<入場無料>

展示期間:12月4日(月)~22日(金)
 (12日(火)、17日(日)は除く。9日(土)13:00~16:00、10日(日)13:00~18:00はアゴラ・グローバルカフェに移動し特記の時間のみ展示)
 会場:アジア・アフリカ言語文化研究所

【読み聞かせ会】<入場無料、申込不要>

- ▶12月9日(土)14:00~
会場:アゴラ・グローバル カフェ
- ▶12月17日(日)14:00~
会場:紅葉丘文化センター (予定。最新情報はHPをご覧ください)



ルワンダコーヒー & アフリカグッズ販売

Femme Café コーヒーの販売に合わせて、アフリカグッズを販売します。東京外国語大学アフリカ地域専攻のFemme Caféメンバーや先生が現地調達した、日本ではなかなか手に入らないグッズばかりです! 雑貨やお菓子など、アフリカに馴染みがない方も気軽に楽しめるグッズも販売しますので、高品質のルワンダコーヒーを飲みながら、この機会にぜひ手に取ってみてください。

- ▶12月9日(土)13:30-14:30
於:アゴラ・グローバル付近
アフリカ絵本読み聞かせ会と同時開催
- ▶12月10日(日)17:00-17:30
於:アゴラ・グローバル付近
エチオピア映画Teza 上映会の後
- ▶12月16日(土)15:20-16:30
於:学生会館円形食堂
アフリカ音楽イベント&留学生交流会の前
- ▶12月21日(木)
9:00-17:30
於:研究講義棟
101教室付近



撮影:近藤史

アフリカブリコラージュ 写真展と関連企画

当企画では、アフリカの日常に息づく様々な器用仕事(ブリコラージュ)を捉えた作品の他、本学の学生・教員が「アフリカ暮らし」のなかで出会った様々なひと、ものの写真を展示します。あなたのアフリカのイメージが変わる、そんな写真展にぜひ足を運んでみてください。あなたの世界の色も、ちょっとだけ、変わるはずです。

【写真展】<入場無料>
 展示期間:

12月4日(月)~22日(金)8:00~20:00
 (17日(日)は除く。9日(土)13:00~16:00、10日(日)13:00~18:00はアゴラ・グローバルカフェに、16日(土)15:30~19:30は学生会館円形食堂移動し特記の時間のみ展示)
 場所:研究講義棟1Fガレリア

【講演会】<参加料無料、お申込不要>

日時:12月18日(月)17:40-19:10(6限)
 場所:研究講義棟 102教室
 講演者:黒崎龍悟先生
 「アフリカの人々の器用仕事(ブリコラージュ)に学ぶ」



学食(大学生協)での料理提供も決定!お楽しみに!

12月12日(火) ジョロフライス 限定100食
 12月14日(木) フランゴ・ア・アフリカーナ 限定50食



アフリカ音楽イベント & 留学生交流会

西アフリカの伝統太鼓、ジャンベを知っていますか? たたく位置と手のひらの形を変えることにより多彩な音色を奏でることのできる、シンプルでありながら奥深い楽器です。当企画では、多摩美術大学ジャンベ民族音楽部によるジャンベ演奏会、ジャンベワークショップが行われます。アフリカの文化に触れたい方、音楽好きの方、ぜひいらしてください!



日時:12月16日(土)16:00 (15:30開場)
 場所:学生会館 円形食堂
 参加費:音楽会+食事会1500円 (音楽会のみ400円)

お申込みはafricanweeks.2017.tufs@gmail.com、もしくはFacebookイベントページで参加予定を表明

【タイムテーブル】

- 15:30 開場
- 16:00 音楽会開演
- 16:30 ジャンベワークショップ
- 17:30 日本の踊り披露など
- 18:00 食事会(終了予定:19:30)

ほかにもSNSでの記事配信など、さまざまな企画を計画しています。詳しくはこちらをCheck!! >>>>>

Instagram @afrikanweeks Twitter @afrikanweeks Facebook https://www.facebook.com/africanweeks2017/

